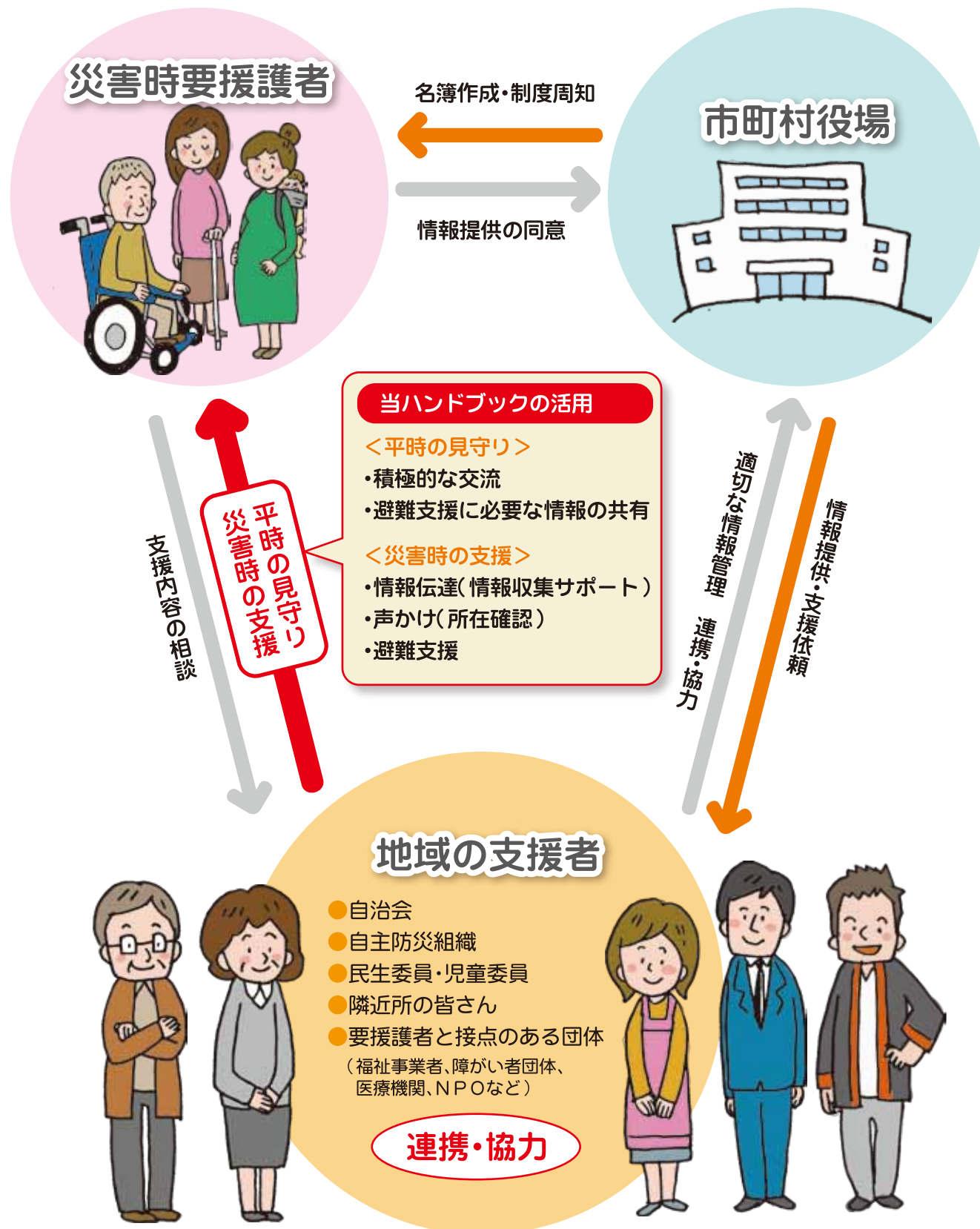


4 支援のしくみ



トピックス①

災害から身を守る(熊本の災害)

風水害

早めの自主避難、明るい時間帯の予防的避難を！

熊本県では、梅雨の時期に1年の降水量の約4割が集中し、災害につながる可能性が非常に高まります。

平成24年の熊本広域大水害では、夜間の突発的な豪雨で避難行動が制約されるなどして、多くの尊い命が失われました。

高齢の方や障がいのある方などは、特に避難に時間がかかることが予想されます。河川氾濫や土石流などの危険が予測される場合は、市町村からの避難準備情報(P6参照)を待つことなく、早めの避難を促しましょう。

特に夜間は、避難そのものが危険になります。本格的に雨が降り出す前の**明るい時間帯**に、予防的避難を心がけましょう。



平成24年7月12日
熊本広域大水害(阿蘇市)

地震

備えることで危険を減らす！

熊本県でも過去に地震による大きな被害が発生しており、地震を起こすと考えられる活断層があります。

⇒右図参照

文部科学省が行った「九州地域の活断層の長期評価」における「詳細な評価を行った活断層」(断層長: 15km程度以上、地震規模:M6.8以上)

地震は突然発生するので、日頃の備えが大切です。住まいの安全対策(P25資料2参照)や非常用品の用意(P27資料3参照)、地震発生時に身を守る行動などについても事前に学んでおきましょう。



津波

避難は、遠くよりも、より高く！

熊本県には、津波による浸水被害を受ける可能性が高い海抜ゼロメートル地帯が広がっており、備えが必要です。

津波は速度が速く、地形などにより予想以上の高さになることがあります。2回、3回と繰り返し襲ってくることもあり、第1波が最大であるとは限りません。

迅速・的確に正しい情報を入手し、海岸から「より遠く」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。

